

FAQ

令和 7 年度

受験生及び保護者様より、多くいただく質問・お問合せへの回答です。

～授業について～

※カリキュラム、進度、時制表については学校案内(P.3)をご覧ください。

質問	回答
「授業が命」とありましたが、具体的にどのような授業を行なっているのですか。また、授業で一番大事にしていることを教えてください。	本校は、授業を最も大切なものと認識しています。全教員が高校3年生対象の校内模試の作成、採点、結果検討に関わり、校内模試と各大学入試との関係を熟知し、高3担当以外の教員も、目標とすべき学力の最終到達点を把握しています。その上で、中1～高2までの各段階での授業をどういう進度と、どういう難易度ですすめるべきかを組み立てます。こうして組み立てた授業で生徒を鍛え育てています。さらに、その授業内容の定着度を、小テスト、週テスト(中学)などで随時確認し、補習を実施し、各学年の生徒がそれぞれの時期に身につけるべき学力をしっかりと身につけられるよう心がけています。生徒にも、授業で力を付けることが最も大切なことで、授業の予習復習、そして小テストや週テスト(中学)に全力で取り組むように普段から伝えています。
高校からの入学で授業についていけるのかを知りたいです。	特に数学について附設中出身者に高1の1年間で追いつくことが課題となりますが、実際高校からの入学生はよく頑張つて乗り越えています。
英語の授業内容や授業の進め方はどのような感じでしょうか。また、入学までに身に付けておいたほうが良いことがあれば教えてください。	中学課程を中2までに、高校課程を高2までに終了する内容です。 中1から高1までは、ネイティブの先生の授業が週に1時間実施され、スピーキング指導も行われます。 中学入学前に特に身につけておくべき事はありません。
朝や放課後、夏休み等の長期休暇中の補習の有無について教えてください。	放課後に、必要に応じて数学、英語を中心に補習が行われます。高校生については夏休み期間中は課外授業がありますが、寮生を考慮し長期休暇もきちんと設定しています。中学では夏休みの最後に指名制の補習を実施しています。

質問	回答
生徒同士や先生方との距離感が知りたいです。例えば、わからない問題などをチームで解決議論するような場が豊富にありますか。	先生に気軽に質問できる、生徒と教員間の雰囲気があります。休み時間には質問の生徒たちで職員室は賑わいます。また、生徒同士も近い関係が多いと感じます。生徒同士で問題を解き合い、高め合う姿が見られます。グループに課題を課し議論させる授業も一部にはありますが、主要な授業形態ではありません。
学習指導要領の改訂により、中学で英語の授業は全て英語で行うようになったと聞いています。附設中学、高校でも実施されているのでしょうか。	現在、英語による英語の授業は完全には実施しておりませんが、特に中学の授業では、英語を聞き、読み、演習するという点で、英語に多く触れる授業となっています。高校では、詳しい解説が必要となり日本語を使う授業となりますが、中学と同様、英語に多く触れ、聞き、書くという面をより重視した授業となっています。
生徒への日々のフォロー体制(学力維持の為にチェック体制等)について教えてください。	多くの授業で宿題を課し、宿題や提出物をチェックしています。また、小テストを行い、その結果で補習や追試などを行っています。さらに、中学では週テストを毎週実施し、その結果で数学と英語の学習状況を確認し、補習を行うなどの対応をしています。
成績下位層に対するフォローはどのようにされているのでしょうか。	中学では、週テストおよび小テストの成績から補習を実施しています。高校では、定期テストの成績などから特に数英について補習を実施しています。
学校を欠席した場合の授業のフォローや補習等はあるのですか？	プリント、ノートなど授業内容がわかるようにして渡したり、Google Classroomで配信したりするなど、個別に対応しています。
入学後の成績の評価はどのように行っていますか。テストの結果のみや提出物の評価も含めるのかなど教えてください。	日頃の小テストや提出物の提出状況から平常点最大20点分を算出し、あわせて100点として評価しています。

～塾・家庭学習について～

質問	回答
家庭学習の進め方について教えてください。	宿題に取り組み、授業の復習と予習をします。これ以外には必要ありません。
遠距離通学者の勉強時間の使い方について教えてください。	通学時間中を利用しながら、集中して勉強に取り組んでいるようです。
日々の宿題量を、だいたいどのくらいの時間をかけて皆さんこなしているのか知りたいです。	家庭・寮での学習は3時間を目安としています。遠方からの通学生の場合、工夫して実際は2時間ぐらいの学習時間で宿題をこなしている生徒もいます。寮生の場合、現在一斉学習時間は中学寮で2時間40分、高校寮では3時間30分となっています。

質問	回答
日々の宿題や課題はどのようなものがあるのでしょうか。 また、長期期間の休みの際(夏休みなど)は、補講など設けられているのでしょうか。	授業の予習復習になるような宿題が、特に数学、英語などでは毎日出ます。長期休暇の補習として、中学では夏休みの終わりに数日間、指名制の数英補習があります。
長期休みの課題の内容や量について知りたいです。	特に中学では、長期休みの課題は多く出されます。前学期の復習となる課題と、中1・中2では夏休み作品展にむけての研究や制作課題も出されます。
塾に通う必要がありますか？	ありません。内容が深くかつ進度が速い授業を行っていますので、更に別の学習は消化不良につながる可能性があります。なお、高校では授業についてのサポートという目的で塾を利用する生徒はいます。
通塾している生徒の割合を知りたいです。	中学では10%程度ではないかと思われます。高校でも講義形式の塾・予備校に通う生徒はほとんどいませんが、授業についてのサポートや自習室使用を目的としたものを利用してはいる生徒は30%程度ではないかと思われます。

～通学について～

質問	回答
平均通学時間を教えてください。	1.5時間ぐらいです。
通学している生徒は、一番遠い所から来ている生徒はどこから来られていますか。 また、鹿児島から通学は可能でしょうか。	本校は遠方からの通学も多く、今年度は70名以上が新幹線を利用しています。最も遠くから通学している生徒は、鹿児島県内の川内駅、鹿児島中央駅を利用しています。
福岡市内ですが、通学に時間がかかる地域からの寮生はいますか。毎日の通学には遠い気もしています。	通学に2時間程度かかる場合に、通学するか寮に入るかは各ご家庭での選択になります。学習時間・部活動時間の確保のために入寮するケースもみられます。
天候不良等で公共交通機関が止まった場合の対応をお聞かせください。オンライン授業は行っていますか。	福岡地区、筑後地区に警報(大雨・洪水・大雪)が出た場合、休校・授業開始遅延等を緊急メール、HPでお知らせます。オンライン授業は今後の課題として取り組んで参ります。
生徒たちの通学時間や、交通手段、近隣に住む方々の朝の登校時間を知りたいです。	西鉄大牟田線、JR鹿児島本線、久留米市内西鉄バスの利用が主です。朝は6時半に家を出る生徒が多いようです。学校には8時半までに登校します。
駅からのスクールバスを出す予定はありますか。	現在、ありません。
通学方法について。西鉄久留米駅についてのバスの便はたくさんあるのでしょうか。座って行けるのでしょうか。	午前7時台には10本(うち7本が直行バス)のバスが出ていますが、必ず座れるわけではありません。便数についての西鉄への要望は出しています。
自転車通学の可否について教えてください。	学校までの自転車の利用は中2から高3について認めています。

～進路サポートについて～

質問	回答
大学受験に向けて学校でどのようなサポートをされているのか教えて頂きたいです。	高2までに数英を中心として高校課程を終えること、高3では校内模試を全教員で作成し生徒の学力を確認する一方、志望校に応じた大学別の特別講義(特講)を放課後に実施していることなどが特徴的なこととしてあげられますが、教員は中1からの日々の授業でつねにサポートしている意識を持って取り組んでおります。
推薦入学できる大学(学部)を教えてください。	系列の大学へのいわゆる「内部推薦」は一切ありません。指定校推薦については、年度によって枠が提供される大学、学部・学科は異なります。参考として、昨年度は早稲田大学の文学部・文化構想学部・基幹理工学部学系3・創造理工学部総合機械工学科・先進理工学部応用物理学科、慶應義塾大学の商学部・経済学部、東京理科大学のA類創域理工学部電気電子情報工学科などでした。

～部活動について～

質問	回答
部活動と勉学の両立について、在校生の方がどのようにされているか教えてください。部活に入りたいと思っておりますが、通学時間もあり、勉強と両立できるか心配しております。	平日の部活動は、放課後16時～18時(18時完全下校)で、帰宅すると20時になる生徒もいます。 短い部活動時間ですが各部工夫しながら好成績を収めています。帰宅後、2時間～3時間の勉強が可能で、時間を無駄にせず集中して取り組んでいます。
部活動をされている生徒さんは、全体の何%くらいでしょうか。	中学では、男子は運動部に約3～4割、文化部に約2割弱、女子は運動部に約3～4割、文化部に約2割が所属しています。高校では、男子は運動部に約4～5割、文化部に約2割、女子は運動部に約1割、文化部に約3割が所属しています。
運動部と文化部を兼部している生徒はどのくらいいるのでしょうか。	それほど多くはありませんが、文化部は週に2回など活動日が限られている場合が多く、希望すれば可能です。
部活動(運動部)のお子さんの進学実績を知りたいです。	運動部所属の生徒とそうではない生徒では進学実績に違いはありません。
部活動について、授業についていけない生徒さんはいないのでしょうか。また、つまづいた時のフォローなどはありますか。	中学は週1回の英数テストで学習の定着度を確認し、必要に応じて放課後に補習を行うなどでフォローしています。そのため、補習への参加によっては部活動への参加ができない日がでできます。

～受験対策について～

質問	回答
他県からの受験で、九州から受験されるお子さんのように徹底した学校対策をできませんが、どのように受験対策を進めれば良いでしょうか。	他の地域での受験対策と同じですが、過去問を解いて、傾向をつかんでいただくとよいと思います。
令和4年度入試より理科と社会の試験時間が5分増やされた趣旨を教えてください。	思考力を問う問題などに対して、時間をかけて対応できるようにするため、試験時間を延ばしました。
今年、いわゆるオープンキャンパス(学校の中を実際に見学できる機会)の予定はありますか？	令和7年度は9月20日(土)に本校体育館にて学校説明会を開催予定です。開催時間、定員数、申込期間など詳細は追って本校ホームページにてお知らせいたします。(7月頃予定)

～寮について～

質問	回答
入寮の基準等について教えてください。	日常の通学が交通事情等の理由で長時間を要する場合は入寮の条件を満たします。ただし入寮希望者が多数で、その年度の寮室準備数を上回る際は、通学時間の短い順にお断りする場合があります。(令和9年度予定の中学寮建て替えの際は、寮生数を調整します。)また、年度途中に引っ越し等による通学困難が発生する場合は、ご相談ください。
入寮者の割合を教えてください。	中学男子の28.8%、高校男子の29.4%が寮生です。(令和7年4月現在)
寮生の放課後や土日の過ごし方について教えてください。	放課後は部活動に所属している生徒は部活動、その他の生徒は読書など趣味の時間として過ごしています。また、制限はありますが外出も可能で、買い物に行くこともできます。土曜日は平日と比べて自由時間を多く設定しており、ゆったりと過ごしているようです。日曜日は午前中に学習時間がありますが読書も可としており、午後は自由時間で外出も可能です。夕方以降は平日と同じ日課となります。
土日や長期休暇中の帰省について教えてください。	土曜日など、休前日は届出によりいつでも帰省することができます。平日でも特別外泊申請により外泊は可能です。定期テスト直前を除けば、中学寮生は8割ほど、高校寮生は6割ほどが毎週帰省しています。長期休暇中は、終業式当日に閉寮し、始業式の前日に開寮します。夏休みの高校課外授業期間中は高校寮のみ開寮します。

質問	回答
女子寮について教えてください。	女子寮新設の予定はありません。ただし、令和5年度より、高校3年生女子に対しては、通学状況に応じて学校として許可している下宿を斡旋しています。令和6年度より高校2年生についても若干名特別に斡旋しています。高校1年生、中学生については、現段階では検討する予定はありません。
寮生の人間関係はいかがでしょうか。	概ね良好です。トラブルの際には寮監および寮監長からの聞き取りをし、解決を図ります。他人への嫌がらせなど、寮内の秩序を乱す行為については、厳しく対応します(遠隔地寮生でも一律退寮処分とします)。
家庭との連絡について教えてください。	中高とも、取り次ぎ可能時間(一斉学習中等を除く)を設定していますので、家庭から寮へお電話いただき、寮生を放送で呼び出して取り次ぐという形になります。FAXでのご連絡も、受け付け可能時間内であれば可能です。 寮生から連絡がある場合には、公衆電話を利用するか(中学寮)、各自の携帯電話で連絡する(高校寮)ことになります。 中学生は原則として家庭への連絡を理由とする携帯電話の返却は許可していません(災害時等は除きます)。
携帯電話等の所持について教えてください。	携帯電話やスマートフォン等は、届出による許可制です。中学寮では管理室で保管し、帰省の際などに返却します。 高校寮では各自で保管し、使用許可時間に原則自室で使用可としています。 別に定める使用規則違反の場合は没収して管理室預かりとし、繰り返す場合は許可を取り消すこともあります。また、学習時間前に自主的に管理室へ預けに来る賢明な寮生もいます。
健康管理について教えてください。	毎朝、検温をしています(寮監が実施)。37.5度以上の発熱の場合には一両日中に帰省していただきます(一晩のみ寮保健室での休養可能)。37.5度未満の発熱で体調不良の場合には、寮の保健室で一晩だけ休養することができます。 通院については、発熱等の風邪症状の場合は寮から病院へ連れて行くことはできません。原則として保護者の方々での対応をお願いします。怪我などの場合は寮監の付き添いにて通院することは可能ですが、病院によっては症状の説明等に保護者の付き添いを要求されることもあります。 なお、定期的な通院等は「特別外出」にて随時対応しています。
寮の食事について教えてください。	体育館1階の食堂にて、平日は1日3食、土日祝は朝夕の2食を寮生メニューにて提供します。 土日祝の昼食は寮食費に含まれておらず、各自で取っていただきます(外食も可能です)。寮内には、寮生用の冷蔵庫、電子レンジ、トースターの他に冷水器、飲料水自販機を設置しています。
食物アレルギーへの対応について教えてください。	入寮前にアレルギー調査を行い、食堂(委託業者)・保健室・寮で連携を図り、可能な限り対応しています。 ただし、コンタミネーションへの対応はできかねます。また、原則として年に1回、確認のためにアレルギー調査を行います。

質問	回答
通学生との成績の差について教えてください。	学年によって様々ですが、寮に入れば成績が良くなるという考えはお止めください。確かに一斉学習で半強制的に机には向かうこととなりますが、その時間を意味のあるものにするかどうかは本人次第です。テレビやゲームなど、家にいると様々な誘惑があるので勉強に集中しやすい、という声はよく聞きますが、やはり本人次第です。 ただし、中1・2の間は学習室で成績の良い友人の姿を見て奮起する、ということも少なからずあります。
通塾について教えてください。	中学生は、門限18:35以降の通塾は禁止です。ただし、土曜日の放課後など、塾に行った後にそのまま帰省する場合には特別な許可は必要ありません(通塾可能)。 高校生は、届出による許可制です。門限18:50以降の通塾も可能ですが、最終帰寮門限は22:30としています。また、夜間の通塾に限り自転車の利用も可能です(別に届出が必要)。
寮生活での学習方法やフォロー体制を知りたいです。	寮での学習は「自学」です。中1・2は各学習室に決められた時間に集まって勉強することにより、学習習慣を確立し自学の力を高めるとともに、集中して学習する周りからの良い刺激があります。この「一斉学習」の時間は毎日出される各教科の課題にしっかりと取り組む時間で、寮監と寮スタッフはこの時間を大切にするべく、寮の環境を整えます。
寮に入ることのメリット(学校に近い以外で)・デメリットを教えてください。	集団生活の中で一定の我慢強さが身に付く、中1・中2は集団の一斉学習で周りからの刺激を受けやすい、通学生には得られないような強い団結力で入試に向かうことができる、放課後の時間を有効に使うことができる(特に部活生)など。強い意志を持ち、自分自身の将来のために集中して学習できる人/したい人には恵まれた環境です。 一方、自宅が遠いから仕方なく寮に入っているんだ、という受け身意識の生徒にとっては上記のメリットがすべてデメリットに感じられることもあるようです。そのどちらかになるかは、その人次第です。

～その他～

質問	回答
通学、部活、1日のスケジュールについて教えてください。	基本的には、8時半登校、15時25分授業終了(7限がある場合は16:25) その後部活、18時下校です。
1クラスあたりの女子の人数を教えてください。	各クラス約40人中、およそ15～17人が女子です。
放課後の自習のために教室や図書室等が使用可能か知りたいです。	放課後の教室の利用は可能です。図書室は通常は17時まで、定期テスト前は18時まで利用できます。
水泳授業について教えてください。	学校にプールは設置されておらず、水泳の授業は行っておりません。

質問	回答
留学(短期ホームステイ)について可能かどうか知りたいです。	夏休みなどにホームステイに個人で参加することは可能です。
数学オリンピック等に学校から出場した場合、何か基準や選考がありますか。	とくにありません。希望する生徒は全員、一次試験を受験しています。
学業以外に力を入れていることはありますか。海外大学への進学を目指す学生は一定数いらっしゃいますか。 情報オリンピックに参加する学生はいらっしゃいますか。	中学生は夏休みの自由研究、卒業論文制作、科学の甲子園ジュニア、ジュニア数学オリンピックなど、自分の興味・関心に応じて様々なことにチャレンジしています。 高校生も科学の甲子園、数学オリンピック、化学オリンピック、物理オリンピック、地理オリンピック、情報オリンピックなどに多くの生徒が自主的に応募しています。海外の大学への進学を目指す生徒は毎年若干名おり、個別に対応していますが、学校としての取り組みはありません。
ICT活用などについて教えてください。	2021年度より高2以下の生徒にタブレットを配布し、利用を開始しました。2022年度には全学年へのタブレット(iPad)配布が完了し、活用しています。利用方法は授業で異なりますが、クラス、授業、課題連絡に多く利用しています。
スマホの使用は許可されていますか。 また、SNSの利用は許可されていますか。メディア教育はされていますか。	中学生のスマートフォンの利用は学校内では禁止されています。高校では朝のHRから帰りのHRまで禁止です。それ以外の時間帯でも保護者等との連絡手段としての使用以外は禁止しています。寮生については、寮についてのページをご覧ください。学校、通学時以外でのSNS利用は制限していませんが、SNS利用等メディア教育については、中学2年生と高校2年生の「情報」の授業での教育に加え、随時、学年集会やスマホ講座の開設などを実施して対応しています。
保護者面談の頻度を教えてください。	全保護者対象の面談は年に1回ですが、ご要望に応じ行っております。
学校や寮でいじめがあった場合の対応について教えてください。	まずは各学年での対応が中心となりますが、いじめが確認されれば、学校として厳正に対処します。その場合には、いじめ対策委員会を設置し、解決、各生徒への指導、フォローに学校全体で対応します。
スクールソーシャルワーカー在籍など、生徒の心のケアについてサポートしていただけるようなことはありますか。	スクールカウンセラーが3名勤務しています。生徒、保護者からの相談に対応し、心のケアをサポートしています。
中学生は通常、どこで昼食を取っていますか。	教室で各自準備した昼食をとるか、食堂で食券を購入して昼食をとります。
食堂は寮生以外でどれくらいの生徒が利用していますか。実際女子は利用しているか教えてください。	昼食時、寮生以外で食堂を利用する生徒は概ね180名ほどです。食堂を利用する寮生と寮生以外では割合にして10:9ほどです。寮生以外の利用者のうち女子は60名ほどで、寮生以外の食堂利用者の1/3を占めています。
食堂を利用する生徒は何割くらいですか。また売店について(商品、営業時間など)教えてください。	全生徒数から寮生を除いて、およそ20%の生徒が昼食で食堂を利用しています。売店では、パン、米飯(小さめのお弁当等)、飲料、機能性表示食品、文具など販売しています。(通常営業時間8:00-17:00)

